

中国：2020年1～6月の自転車生産・輸出状況について

中国自転車協会は8月17日に2020年1～6月期の自転車生産・輸出状況について発表した。2019年1～6月期の発表は昨年10月下旬に行われたから、今年は昨年より2カ月も早く発表されたことになる。

中国自転車協会発表文書

<http://www.china-bicycle.com/News/View/1563a0ef-4276-49a6-9d40-d421da8faffa>

それによると、一定規模以上の自転車企業(その年の主な業務による売上高が2,000万元以上の工業企業)の当該期の自転車生産台数は対前年同期比1.9%増の1,930万5,000台、一定規模以上の電動自転車企業の電動自転車生産台数は対前年同期比10.3%増の1,170万1,000台であった。6月単月の自転車生産台数は前年同期比34.3%増の452万7,000台、同じく電動自転車生産台数は同48.4%増の307万3,000台であった。

また一定規模以上の自転車企業の累計主要営業業務収入は221億8,000万元で対前年同期比2.8%減、実現利益は7億5,000万元で対前年同期比8.3%増となった。一定規模以上の電動自転車企業の累計主要営業業務収入は377億4,000万元で対前年同期比13.4%増、実現利益は16億7,000万元で対前年同期比31.6%増であった。

2020年1～6月期の自転車輸出台数は2,332万8,000台で、対前年同期比9.9%減、輸出金額はUS\$13億3,400万で、対前年同期比8.1%減、輸出平均単価はUS\$57.2で対前年同期比2.1%の上昇であった。一方、自転車部品の輸出金額はUS\$12億1,700万で、対前年同期比13.4%減少した。

中国自転車協会では、中国国内におけるコロナウイルス感染症の影響は次第に弱まってきており中国自転車業界は急速に回復してはいるものの、国際的にはまだコロナウイルス感染症の困難度は高まっており、外需の潜在性がみられる一方で不確実性も混在しているので、慎重さを維持すべきで、過度に楽観的になるべきではないと総括している。

関心のある方は、上記の発表文書を参照していただきたい。

以上